

10年ぶり 待望のソロ・リサイタル

ブイェラフイム・
ブロンフマン
ピアノ・リサイタル

熟成された音楽の頂点
巨匠が紡ぐソナタの光彩

Yefim Bronfman
Piano Recital

©Frank Stewart

シューマン：アラベスク ハ長調 Op.18 Schumann: Arabeske in C Major Op.18

ブラームス：ピアノ・ソナタ 第3番 ヘ短調 Op.5 Brahms: Piano Sonata in F Minor Op.5

チャイコフスキー：ピアノ・ソナタ(大ソナタ) ト長調 Op.37 Tchaikovsky: Piano Sonata (Grand Sonata) in G Major Op.37

2025年9月16日(火) 19:00開演 (18:20開場、21:00終演予定) 東京オペラシティ コンサートホール 京王新線「初台駅」東口直結 徒歩5分
7:00 p.m., Tuesday September 16, 2025 at Tokyo Opera City Concert Hall

S席¥9,000 A席¥7,500 B席¥6,000 ※チケット料金には消費税10%が含まれています。特別料金については裏面をご覧ください。
※先行販売で満席となった席種は、以降販売されない場合がございます。

主催：ジャパン・アーツ

ジャパン・アーツぴあオンラインチケット：4月13日(日) 10:00～ 一般：4月20日(日) 10:00～

お申込み ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212 www.japanarts.co.jp 東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999
チケットぴあ t-pia.jp <Pコード/296-753> イープラス eplus.jp ローソンチケット l-tike.com <Lコード/33808>



令和7年度文化庁 劇場・音楽堂等における
子供舞台芸術鑑賞体験支援事業

Yefim Bronfman Piano Recital

イエフィム・ブロンフマンこそは現代の巨匠である。名だたる世界的指揮者から熱い視線やオファーは引きも切らず、直近の来日公演でも2024年ネルソンス指揮ウィーン・フィルとのベートーヴェン「ピアノ協奏曲第3番」、2023年ルイーザ指揮ロイヤル・コンセルトヘボウ管とのリスト「同第2番」など、堂々たる佇まいで比類ない存在感を示している。

もとよりブロンフマンのピアニズムは独創的だ。強靱なタッチ、超弩級のテクニックと抜きん出た駆動力、スケールの大きな造形力は他の追随を許さず、鮮やかなダイナミズムを湧き起す。そればかりではない。深々とした譜読みと理知的なアナリーゼによるアプローチこそがブロンフマンの真骨頂。ゆえにバロック、ロマン派、近現代音楽を問わず、肌理細やかでみずみずしい詩情が馥郁と湛えられた情調は、神韻縹渺たるドラマを描いて比類がない。高貴な気品や格調の高さもさることながら、感情の起伏や内面の葛藤を克明にしながら展開していくから、実に説得力のある音楽的感興が湧き起こるのである。

今回は2015年以来、ほぼ10年ぶりとなる待望のリサイタル。以前ブロンフマンは、1シーズンひとりの作曲家に特化したリサイタル・プログラムを掲げていたが、9月にはシューマン、ブラームス、チャイコフスキーという垂涎のロマン派作品が並ぶ。2005年や2007年のベートーヴェンやブラームス、2015年のプロコフィエフでは、ドラマティックな歩みに加え、繊細極まりないニュアンスの多様さ、明暗や動静などの明確なコントラスト、作曲家の心象風景を吐露するような内省、そして感性や閃きの鋭さなどが凝縮した圧倒的な演奏で魅了したのは今も脳裏に刻まれている。

青年時代のブロンフマンにもっとも影響を与えたのはアイザック・スターンであり、なかでも“カラズ”という言葉に感銘を受けたという。その言葉通り、グラデーションのように色彩が千変万化する圧巻のリサイタルになるだろう。

真嶋雄大 (音楽評論家)

© Sebastian Widmann



イエフィム・ブロンフマン(ピアノ) Yefim Bronfman, Piano



イエフィム・ブロンフマン
アーティストページはこちら

世界的に高く評価されるピアニストであり、その圧倒的な技巧と力強さ、卓越した抒情的表現力は、常にメディアや観客から称賛を受けている。音楽祭やオーケストラ、指揮者から常に求められる存在であり、世界最高峰の演奏家の一人として活躍を続けている。旧ソビエト連邦のタシケントに生まれ、1973年に家族とともにイスラエルへ移住。テルアビブ大学ルービン音楽院でアリエ・ヴァルディに師事し、その後アメリカへ渡り、ジュリアード音楽院、マールボロ音楽学校、カーティス音楽院で研鑽を積む。名誉あるエイヴリー・フィッシャー賞を受賞し、2010年にはジーン・ギンペル・レーン賞を受賞、2015年にはマンハッタン音楽学校の名誉博士号を授与された。2024/25シーズンは、ピッツバーグ交響楽団およびNDRエルブフィルハーモニー管弦楽団とのヨーロッパツアーを皮切りに、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団と中国、日本を巡る。さらに、今シーズンは特別プロジェクトとして、秋にエマニュエル・バコとのデュオ、春にはアンネ・ゾフィー・ムター、パブロ・フェランデスとのトリオ公演が予定されている。

オフィシャル・ホームページ: <https://yefim-bronfman.com/>

《特別割引チケット》

(ジャパン・アーツぴあコールセンター及びジャパン・アーツぴあオンラインチケットで受付)

- シニア割引=公演当日65歳以上の方は5席¥8,500 A席¥7,000(税込)でお求めいただけます。
- 車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。
(ジャパン・アーツぴあコールセンターで受付)

X(旧Twitter)でフォローする
@japan_arts

<次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ。>

- ①やむを得ない事情により、曲目・曲順等が変更になる場合がございます。
- ②公演中止の場合を除き、お求め頂きましたチケットのキャンセル・変更等はできません。
- ③いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。
- ④演奏中は入場できません。
- ⑤未就学児の同伴はご遠慮下さい。なお就学児以上の方もご入場には1人1枚チケットが必要で、⑥全指定席です。券面に記載された指定の座席にてご鑑賞下さい。
- ⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話・電子機器等の使用は、固くお断りいたします。
- ⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。
- ⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

古典的で軽快なタッチを聴かせる第1番、そして難曲の第2番の疾走感。
名指揮者メータとの共演による、深い内容と力強さで心に迫るブラームス。



ブラームス: ピアノ協奏曲集 (日本語解説書付)【輸入盤】(2枚組)

ピアノ協奏曲 第1番 二短調 Op.15
ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 Op.83

イエフィム・ブロンフマン(ピアノ)
ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、ズービン・メータ(指揮)

2024年1月17&18日(Op.15) / 2024年1月20&23日(Op.83)
ミュンヘン、イザールフィルハーモニーでのライブ収録

3178,814184 オープン価格

